

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 1073

事業名	中学校進路指導推進事業補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	学校教育課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3018			項	教育総務費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	教育振興費・3目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり_			
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】			
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		市立中学校(進路指導関係業務担当教職員)	対象人数(校) 6
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		進学並びに就職という人生の最初の岐路に当たる中学生に対する進路指導において、市内のどこの学校においても、同様のきめ細やかな指導が行える環境整備を行う。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
	進学指導(島外高校等相談、願書提出、入試引率、合格発表等)及び就職指導にかかる指導担当職員の移動経費に対する助成を行う。 実施内容 ・ 進路指導相談 従事件数 5件 ・ 願書提出 従事件数 1件 ・ 入試引率 従事件数 2件 ・ 合格発表 従事件数 36件		
背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)		
	進路指導指導を担当する教職員にかかる経費については、本来、学校用務(公務)であるにもかかわらず、指導用務先校までの距離により、県旅費支給対象外となる用務があり、生徒指導用務と同様に、各学校において対応指導範囲等に差違が生じる恐れが考えられる。		
事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧4町それぞれにおいても実施していた事業であり、新市においても継続実施する。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	指導回数	指標単位			
			回			
	指標説明 (指標算出方法等)	進路指導、願書提出、入試引率及び合格発表等の出張を伴う進路指導用務実施回数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	120	45	120	50	
	実績値	120	45			
達成度 (%)	100.0	100.0	-	-		
目標値設定の考え方	全ての生徒に対し、同様の指導を行う。					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	指導生徒数	指標単位			
			人			
	指標説明 (指標算出方法等)	指導を実施した生徒数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	1,482	1,368	1,378	1,340	
	実績値	1,482	1,368			
達成度 (%)	100.0	100.0	-	-		
目標値設定の考え方	全ての生徒が同様の指導を受けることが出来る。					
資源配分 (インプット)			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)		300	100	300	100
	中学校進路指導推進事業補助金		300	100	300	100
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]		300	100	300	100
	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
	年間経費([A]+[B])		300	100	300	100
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)		50.0	16.7	50.0	16.7	
受益者人数(41)1人当り経費(千円)		7.3	2.4	7.3	2.4	
経費に関する補足説明	受益者人数は、H18年度補助対象となった指導用務対応教職員延べ数					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	-	-	
<p>(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 当該補助金事業の実施状況から鑑み、概ね達成されているものとする。</p>							3
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
	成果向上率	%	-	7.7	-	-	
	<p>(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 進路指導内容並びに指導回数等については、市内のどこの学校においても概ね同様であるが、同様の指導であっても、現県旅費規程においては、進学高校等の所在により、担当教職員にかかる処遇に差違が生じているが、本補助金事業の実施により、この差違が無くなっており、以て、市内全ての生徒に対し同様の進路指導が実施されている。</p>						
							3
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	2.5	2.2	-	-	
	効率性増減率	%	-	11.1	-	-	
<p>(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 前述のとおり、当該事業は、市内のどこの学校においても概ね同様の指導内容と考えられるが、予算の範囲内で中学校長会において、学校間調整を行っている。</p>							3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	<p>(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 願書提出、入試引率、合格発表については、本来、保護者が行うべき事業であると考えられるが、各個人での対応となると書類の不備や提出日に遅れる等々、入試を目前にして生徒への負担等を軽減するとともに、不合格者となった生徒等へのケアを行う等、学校が保護者になって永年実施してきた事務であり、全ての学校において同様の指導等を行うに当たって必要な助成を学校設置者である市が関与しなければ」ならないものとする。</p>						
							2
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<p>各学校の進路指導の推進における関係職員に対する助成制度であり、当該助成がなかったら事業実施できないものではないとは考えられるが、学校用務(公務)として行う職場環境の整備を行うことにより、よりきめ細やかな生徒指導に繋がるものとする。</p>				
	<p>各学校の進路指導の推進における関係職員に対する助成制度であり、当該助成がなかったら事業実施できないものではないとは考えられるが、学校用務(公務)として行う職場環境の整備を行うことにより、よりきめ細やかな生徒指導に繋がるものとする。</p>						
		<p>評価グラフ</p>					

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>学校による進路指導内容に差違が生じなくするための補助金事業であり、各学校で調整するなど経費節減に努めた上で、継続実施が必要と思われる。</p> <p>当該事業の中止等を行った場合の学校現場における進路指導用務への影響（近隣の高校への用務の打ち切り等）の有無について調査、検討を行う。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 旧町時より実施の補助金事業であり、当該事業の中止等を行った場合の学校現場における進路指導用務への影響（近隣の高校への用務の打ち切り等）の有無について調査、検討が必要。	